

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	就学援助事業(医療費)	所管	教育委員会学校教育部 保健給食課
			TEL 2998-9249

事業の目的 (何の為に 行うか)	経済的理由により、就学困難な児童生徒に対する医療費の援助。
------------------------	-------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	生活保護法に規定する要保護及び要保護に準ずる程度に困窮しているもので、就学援助を申請した児童生徒。	対象とした数	2,586	件
		実際に 利用した数	2,544	件

活動の内容 (何を したか)	<ul style="list-style-type: none"> ・伝染病又は学習に支障を生ずる恐れのある疾病の治療に要する費用の援助。 ・援助の対象となる疾病は、学校保健法施行令第7条に定める「う歯、トラコーマ、結膜炎、中耳炎、慢性副鼻腔炎、アデノイド、白癬、疥癬、膿痂疹、寄生虫病」である。 ・補助する額は、要保護にあつては医療費全額、準要保護にあつては、医療費の3割(社会保険料等7割分を差し引いた額)である。 							
	活動実績	項目名	医療費支給人数	744	項目名		項目名	
			単位	人				単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	4,840	4,567	7,385	21.8

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	医療券利用割合	医療券利用件数/医療券発行枚数	100	98.4	98.4
			単位	単位	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他〔 〕			
		終了	⇒ 事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり	増額	減額	終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了				
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕	終了		
	予算	現状どおり	増額	減額	終了

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	130300	TEL	2998-9249
事業コード	130301		就学援助事業(医療費)			
開始年度	昭和 57 年度		→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令	根拠法令
	分野別計画・指針	なし			子規教育法第23条	学校教育法第17条
	関連・類似事業	就学援助事務(学校給食費),就学援助事務(学用品費等)			要保護・準要保護児童生徒医療費扶助要綱	
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び人・文化をはぐくむまち	施策	2節 学校教育	中柱 5 健康な児童生徒の育成
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 6 位			・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***	

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	経済的理由により、就学困難な児童生徒に対する医療費の援助。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)	生活保護法に規定する要保護及び要保護に準ずる程度に困窮しているもので、就学援助を申請した児童生徒。			利用数の考え方 要保護・準要保護就学援助を申請した児童生徒のうち、学校保健法施行令第7条に定める疾病治療のため医療券を利用した件数		
	対象数	単位	平成 18 年度	2,911	件	平成 18 年度	2,863
			平成 19 年度	2,586	件	平成 19 年度	2,544
	事業の具体的な内容及び実施方法	・伝染病又は学習に支障を生ずる恐れのある疾病の治療に要する費用の援助。 ・援助の対象となる疾病は、学校保健法施行令第7条に定める「う歯、トラコマ、結膜炎、中耳炎、慢性副鼻腔炎、アデノイド、白癜、疥癬、膿痂疹、寄生虫病」である。 ・補助する額は、要保護にあっては医療費全額、準要保護にあっては、医療費の3割(社会保険料等7割分を差し引いた額)である。					

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)	
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		3,500	4,840	4,840
	決算(見込み含む)		4,186	4,567	
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)
	正規職員人件費	0.30 人	2,760	0.30 人	2,818
	公債費				
	事業費合計		6,946	7,385	
	財源内訳	一般財源	6,946	7,385	4,840
		国・県支出金			
		受益者負担金			

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	医療費支給人数	人	831	744		
	成果分析	医療券利用割合	医療券利用件数/医療券発行枚数	目標値	100	100	
				実績	98	98.4	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見直しの必要性
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見直しの必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	なし		
	目標設定	今期目標項目(何を) 児童生徒が速やかに治療を受けられるように配慮する。 申請を受けたら速やかに医療券を発行する。	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	2132
	基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます		
	主要課題	1すべての子育て家庭への支援		
	施策の方向	3経済的支援の充実		